

NAVI

2010年2月1日発行(毎月1日発行) 第27号 定価312円
昭和59年9月3日郵政省郵便物許可 ISSN0269-0079

クルマだけを見ず、クルマだけを語らない

February, 2010

定価: 900yen

02

2009年、 いろいろあった年の 〇と×

我々はあと何年自動車を楽しめるのだろうか？

フェラーリ458イタリアの官能
ソウルフルな韓国ドライブ

清水和夫のダイナミック・セイフティ・テスト
アウディR8 vs ランボルギーニ・ガヤルド

下野康史のイッキ討ち
VWポロ vs マツダ・アクセラ

試乗記

ポルシェ・ボクスター・スパイダー / BMWアクティブハイブリッドX6
/ 日産フーガ / フィアット500アバルト・エッセエッセ

エン ス ー 新 聞 伝 言 板



イベント

入場券プレゼント

●『東京オートサロン2010 with NAPAC』
2010年1月15日(金)～17日(日)の3日間、28回目を迎える恒例のチューニング&ドレスアップカーの祭典「東京オートサロン」が千葉・幕張メッセで開催される。入場料は15日が前売り2500円、当日3000円。16、17日が前売り1700円、当日は大人2000円、中高生1500円(小学生以下無料)。これを記念して、主催者から10組20名の読者に入場券をプレゼント。希望する方はハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、〒101-8419(株)二社 NAVI編集部「東京オートサロン」係までお送りください。2010年1月5日必着。



●『JCCAクラシックカーフェスティバルニューイヤーミーティング』

2010年1月31日(日)、東京・台場の青海臨時駐車場特設会場で、恒例となったクラシックカーイベント「ニューイヤーミーティング」が開催される。コンクールレガシスのテーマカーである英国車をはじめ、国内外のクラシックカー400台が集結する国内最大級の旧車イベントである。入場料は前売り900円、当日1000円だが、主催者より読者に招待券をプレゼント。希望する方はハガキに住所、氏名、年齢、職業を明記し、〒115-0056東京都北区西が丘1-45-9 日本クラシックカー協会(NAVI)ニューイヤーミーティング係までお送りください。締切りは2009年12月末日。問合せは日本クラシックカー協会(☎03-3909-2221 <http://www.jcca.cc/>)まで。



●『HKSプレミアムディ in FSW』

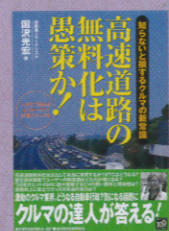
2010年1月31日(日)、静岡県富士スピードウェイでチューニングパーツメーカーHKS(エッチ・ケー・エス)主催のイベントが開催される。主なプログラムはOPTION FSWスーパーラップ、R35 GT-Rバトル、HKSデモカー同乗体験、HKSショー、オーナーズミーティングなど。入場料は前売り1500円、当日2000円(中学生以下無料)、駐車料500円。問合せはエッチ・ケー・エス(☎0544-29-1235 <http://www.hks-power.co.jp/premiumday2010/powersmarket/index.html>)まで。



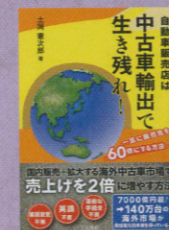
新刊



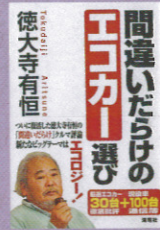
●『クルマのしくみが手にとるようにわかる本』
ベストカー編 講談社
ピーシー / 講談社刊
エコカーの代表格であるハイブリッド車とEVをはじめとする現代のクルマに用いられている、「低燃費」「クリーン性能」「安全性」「快適性」などに関わる最新メカニズムを詳解した書。価格は1600円+税。問合せは講談社ピーシー(☎03-3943-6559)まで。



●『高速道路の無料化は愚策か!』
国沢光宏著 講談社
ピーシー / 講談社刊
書名に掲げられた高速道路の無料化をはじめとする自動車行政から安全運転、点検と整備、カー用品、次世代自動車選びのポイントまで、「知らない」と損するクルマの新常識を紹介した一冊。価格は1200円+税。問合せは講談社ピーシー(☎03-3943-6559)まで。



●『自動車販売店が中古車輸出で生き残れ!』
〜一気に販売先を60倍にする方法〜
土岡憲次郎著
エル書房刊
経営難に悩む中古車業者に向けた、中古車を海外に輸出するノウハウを詰め込んだビジネスガイド。価格は1300円+税。問合せはエル書房(☎03-5261-7685)まで。



●『間違えだらけのエコカー選び』
徳大寺有恒 海竜社刊
エコカー減税が実施され、プリウスがベストセラーの座を独走するなど、空前のエコカーブームともいえる日本の現状に、自動車評論の巨匠が「ちょっと待て」とばかりにペンを執った一冊。往年の「間違えだらけの……」のスタイルを踏襲し、エコカーを取り巻く状況をパッパリと新った総論とエコカー30台の徹底批評+現行モデル100台の通信簿(点数表)で構成されている。価格は1500円+税。問合せは海竜社(☎03-3542-9681)まで。



●『カワサキモーターサイクルズストーリー』
小関和夫著 三樹書房刊
航空機メーカーを母体とするカワサキの技術陣によって生み出されたW1、マッハ、Zといった歴代モデルは独特の強い個性を放ち、「男のマシン」と称されている。本書は、それら独創的なカワサキ車の辿った軌跡やモデル変遷について、多くの写真と共に紹介。1995年に刊行した同書の増補新訂版である。価格は1900円+税。問合せは三樹書房(☎03-3295-5398)まで。



●『エンスーCAR本「STRUT」JAPANダイレクト』
エンスーCAR本「STRUT」著
エンスーCARガイド刊
特集は1990年代のデビューから20年近くを経た今なお高い人気を誇る軽スポーツカー「平成ABCトリオ」ことオートザムAZ-1、ホンダ・ビート、スズキ・カプチーノの徹底検証。そのほかスバル・ヴィヴィオによるサファリリー戦記、山本マサユキのエンスーマンガなどを収録。販売はインターネット直販のみで、価格は1995円。購入および問合せはエンスーCARガイド(www.enthu-car.com)まで。

INTERNET
webCG 通信110
クルマ好きなら毎日見て webCG

発表!『webCG』の「カー・オブ・ザ・イヤー2009」 www.webcg.net

2010年を迎えるその前に。東京モーターショーの開催からGMの破綻まで、いろいろあった(ような気がする)2009年、webCGではどんなクルマが注目されたのか、実際のところ、見てみませんか?

プリウスも敵わない!!?

みなさま、2009年はどんなクルマが印象に残っていますでしょうか。え? どんなクルマが登場したのか覚えてない? そんなあなたのためにも、今日は『webCG』で2009年に注目されたクルマをご紹介します。

まずは、試乗記がもっとも読まれたクルマ。それはズバリ、新型「スバル・レガシィ」。『webCG』でも常にアクセスの多い「スバルの顔」だけに、その変貌ぶりは反響が大きかったようです。続く2位は「トヨタ・プリウス」……の、プロトタイプ。3位も「プリウス」(市販型)。エコカー減税の効果もあって売れに売れてるこちらは、納車待ちのかたもいらっしゃるのでは?

4位以降は、こちらより新された「フォルクスワーゲン・ゴルフ」、さらに「アルファ・ロメオ・ミト」と輸入車勢が健闘。6位には4000万円近いプライスタグを付ける和製スーパーカー「レクサスLFA」(プロトタイプ)がラ

ンクイン! 7位以降は「ホンダ・インサイト」「マツダ・アクセラ i-stop搭載モデル」……と、エコカーがぞくぞく。

いっぽうニュースのランキングでは、「スバル・レガシィのデビュー」がダントツのトップなのは変わらないものの、2位はトヨタのプリウス……ではなくて「FT-86コンセプト!」「ゴルフ」と「インサイト」のデビューを挟んで続いたのは、「ホンダCR-Zコンセプト」や「ボルシェ・バナメーラ」「シビックタイプR ユーロ」など。

走りのクルマに注目しつつ、エコカーのインプレッションで次のマイカーを検討する……データには、読者のみなさんのそんな姿が反映されていたりして。

ともかくにも、『webCG』は2010年も注目のクルマを紹介していきます。毎日お気軽にアクセスください。お待ちしております! (webCG 関)



スバル・レガシィ ツーリングワゴン



トヨタ・プリウス



トヨタFT-86



ホンダCR-Z コンセプト